

平成 28 年度 第 1 回 総合教育会議

平成 28 年 4 月 25 日（月）
午後 1 時 30 分から 3 時まで
県庁本館 4 階議会特別会議室

次 第

1 開会

- (1) 知事挨拶
- (2) 教育長挨拶

2 議事

- (1) 平成 27 年度県総合教育会議の成果(報告)
- (2) 平成 28 年度協議事項等の決定
- (3) その他
 - ・学校における「富士山の日」の状況
 - ・県行財政改革推進委員会意見書「学校給食関係」への対応

3 閉会

<配布資料>

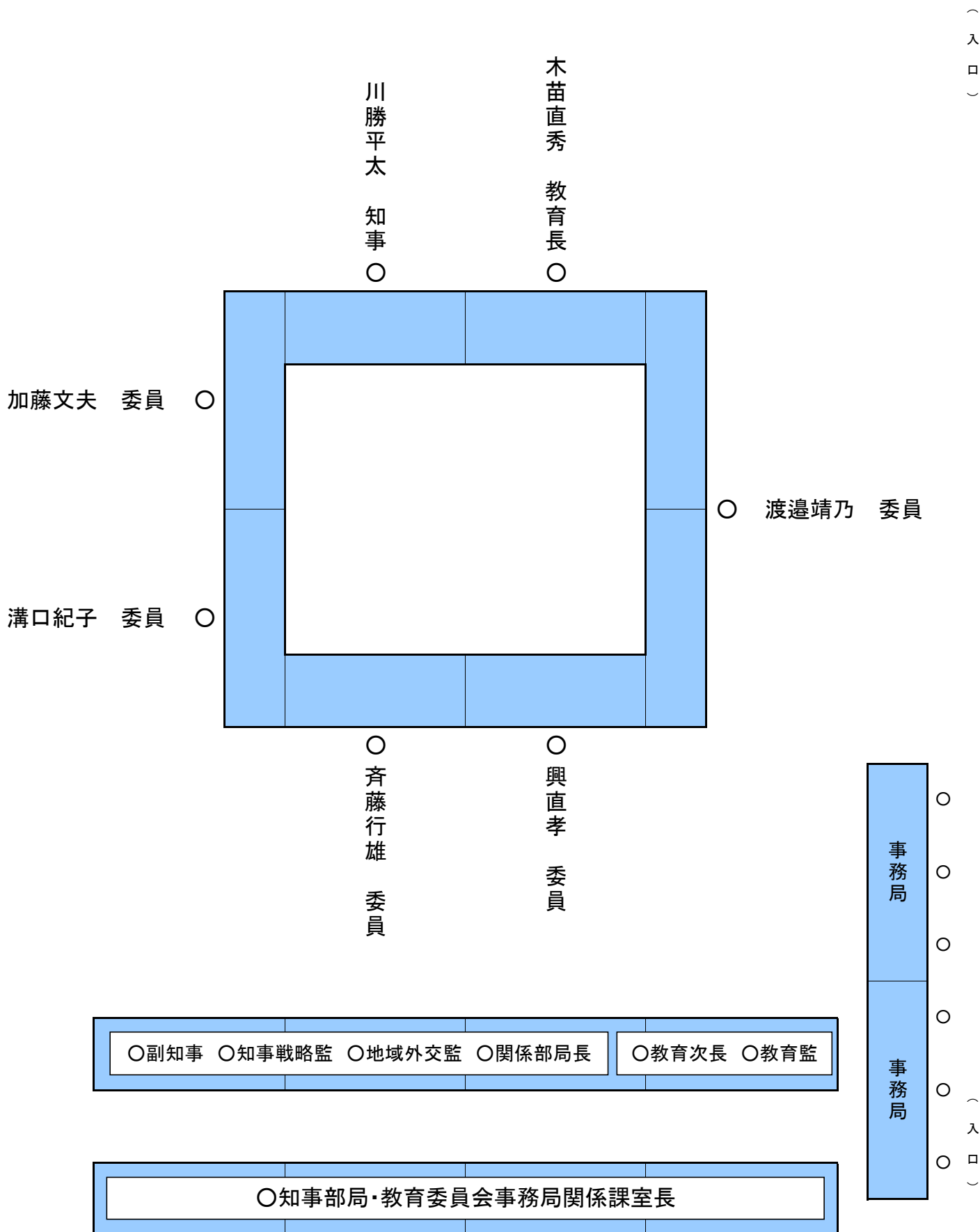
- 資料 1 平成 27 年度県総合教育会議の成果
- 資料 2 平成 28 年度協議事項等の決定
- 資料 3 学校における「富士山の日」の状況
- 資料 4 県行財政改革推進委員会意見書「学校給食関係」の概要

<別添資料>

- ふじのくに「有徳の人」づくり大綱
- 平成27年度静岡県行財政改革推進委員会意見書（別冊：学校給食関係）

第1回 総合教育会議 座席表

日時：平成28年4月25日(月) 午後1時30分～3時
 場所：県庁本館4階議会特別会議室



平成 27 年度県総合教育会議の成果

1 ふじのくに「有徳の人」づくり大綱の策定

総合教育会議での協議を経て、2月23日に本県教育の目標や施策の基本方針を示す「ふじのくに「有徳の人」づくり大綱」を策定した。

◎ 本県教育の基本理念

“ふじのくに”の未来を担う「有徳の人」の育成

◎ 「有徳の人」づくりに向けた基本姿勢

- ・文武芸三道の鼎立の実現
- ・生涯にわたって自己を高める学びの場を提供し、多様な人材を生む教育環境の実現
- ・地域ぐるみ、社会総がかりの教育の実現

◎ 重点取組方針

- ・「『新しい実学』の奨励」、「地域人材の活用」など8項目

2 平成 27 年度県総合教育会議 合意事項

(1) 教職員及び高校生の国際化

- 高校生の海外修学旅行等と教職員の海外研修の更なる充実
- 本県に在住する外国人の児童生徒等との交流促進
- 本県の文化や風土をよく学び、その魅力を世界へ発信することができる国際人の育成

(2) 社会総がかりの教育に向けた地域の人材の活用

- 「ふじのくに『有徳の人』育成バンク（仮称）」の構築
- 「地域で部活動を支援する地域スポーツクラブ」の設立

(3) 新しい実学の奨励

- 地域学を基盤とし地域等と連携した「新しい実学」の充実
- 「新しい実学」に対する社会的評価の向上
- 「新しい実学」に関する教育体系の更なる充実

(4) 大学、大学院の充実

- 県内の大学、大学院の魅力向上
- 小・中・高校と大学、大学院の連携の推進

3 合意事項の事業化状況

(1) 教職員及び高校生の国際化

※太字・太枠は新規事業<参考資料あり>

(単位：千円)

番号	事業名等	事業概要等	H28 予算
1	青少年の国際交流推進事業 【教育政策課】	<ul style="list-style-type: none"> ・日中青年代表交流発展事業 ・モンゴル高校生相互交流事業 ・モンゴル教員交流事業 ・日台高校生産業技術交流事業 等 	18,489
2	外国人児童生徒トータルサポート事業 【義務教育課】	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人児童生徒相談員の配置 ・外国人児童生徒スーパーバイザーの配置 ・トータルサポート事業研修会の開催 等 	10,018
3	ふじのくにグローバル人材育成基金積立金 【教育政策課】	県拠出金及び民間からの寄附金により基金を創設	155,200
4	グローバル人材育成事業 【高校教育課】	創設した基金を財源として、高校生等の海外留学への支援、海外インターンシップの実施等	20,000
5	補習等のための指導員等派遣事業 【高校教育課】	外国人生徒への学習指導の実施等	18,480
6	世界にはばたく人材育成事業 【高校教育課】	<ul style="list-style-type: none"> ・外部機関と連携した英語指導力向上事業 ・スーパージョーナルハイスクールの指定 等 	34,700
7	外国人の子ども育成支援事業 【多文化共生課】	外国人児童の不就学を防ぎ、社会で活躍する人材を育成 <ul style="list-style-type: none"> ・支援人材の育成、人材バンク構築 ・外国人の子ども育成支援に係る相談業務等 	4,000

番号	事業名等	事業概要等	H28 予算
8	国際交流員（CIR）の活用 【多文化共生課】	国際交流員が県内小中高校等へ出張し、交流員の母国の文化や暮らしを子供たちに紹介	132
9	私立小中高校経常費助成 【私学振興課】	特別配分枠を設け、国際交流活動や外国人教員の雇用等の取組に応じて加算	13,799,500
10	私立各種学校運営費助成 【私学振興課】	義務教育に準じる教育を行う外国人学校の運営費助成	22,500
11	空港定期便拡充促進事業（うち教育旅行委員会関係経費） 【空港利用促進課】	富士山静岡空港利用促進協議会教育旅行委員会において、教育旅行による富士山静岡空港の利用促進を図るための経費 ・教育旅行調査団の派遣 等	3,000
12	空港定期便拡充促進事業（うち教育旅行促進事業） 【空港利用促進課】	教育旅行のために富士山静岡空港発着便を利用した学校等に対する支援 ・富士山静岡空港教育旅行利用促進事業費補助金	11,000

(2) 社会総がかりの教育に向けた地域の人材の活用

※太字・太枠は新規事業<参考資料あり>

(単位：千円)

番号	事業名等	事業概要等	H28 予算
1	生徒指導等推進事業 (小・中) 【義務教育課】	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーの配置・派遣 ・スクールソーシャルワーカーの配置 ・外国人児童生徒相談員等の配置 等 	433,700
2	小中学校学習支援 事業 【義務教育課】	<ul style="list-style-type: none"> ・学び方支援非常勤講師の配置 ・学び方支援員サポーターの配置 ・学校図書館アドバイザーの配置 等 	304,700
3	しずおか型コミュニティ・ スクール推進事業 【義務教育課】	<p>地域との連携・協働による「地域とともにある学校づくり」を推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査、研究事業の実施 ・モデル事業を実施 	11,400
4	生徒指導等推進事業費 【高校教育課】	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーの配置 ・スクールソーシャルワーカーの配置 等 	47,300
5	補習等のための指導 員等派遣事業費 【高校教育課】	放課後の学習指導や外国人生徒への日本語の指導等を実施	18,480
6	学校支援地域本部等推 進事業 【社会教育課】	学校支援地域本部の設置や放課後子ども教室の実施を促進し、地域住民の参画を得て、地域ぐるみで子どもを育てる体制を整備	50,000
7	「読書県しずおか」 づくり総合推進事業 (読書アドバイザー) 【社会教育課】	地域の読書ボランティアリーダーや、学校や図書館とボランティアをつなぐコーディネーター等として活躍する人材を養成	251

番号	事業名等	事業概要等	H28 予算
8	みんながつながる 家庭教育推進事業 (家庭教育支援員) 【社会教育課】	親同士の支え合いや、親と地域の人々がつながることを支援する家庭教育支援員を養成	4,936
9	家庭教育支援情報 発信事業 【社会教育課】	正しく安全なネット利用の仕方について助言でき、家庭で話し合っ てルールを決めることの大切さを保護者に伝えるアドバイザーを養成	1,485
10	スポーツ人材活用推 進事業(人材バンク) 【健康体育課】	地域の人材を有効活用するためにスポーツ指導者の人材バンクを作成し、学校や社会教育のニーズに応じて活動し、スポーツの多様化と充実を図る	81,150
11	地域スポーツクラブ 推進事業 【健康体育課】	中学生、高校生のスポーツ活動のニーズに応えるため、自治体が地域の企業や大学等と連携して支援する仕組みづくりを、モデル事業として磐田市で実施	15,000
12	県民啓発強化事業 【危機情報課】	各危機管理局等の職員による防災出前講座を実施(予算額の内数)	(46,823)
13	県立美術館 資料・普及事業 【県立美術館】	学芸員の学校における鑑賞事業として、美術館の概要や展覧会の紹介、レプリカやアートカードを使用した鑑賞授業を実施	530

(3) 新しい実学の奨励

※太字・太枠は新規事業<参考資料あり>

(単位：千円)

番号	事業名等	事業概要等	H28 予算
1	実学推進フロンティア事業 【高校教育課】	・スーパー・プロフェッショナル・ハイスクールの指定 ・産業界からの特別教諭の招請 等	43,000
2	地域産業を支える実学奨励事業 【高校教育課】	・「ふじのくに実学チャレンジフェスタ」の開催 ・最新設備の活用による実践的専門教育の実施	123,500
3	高大連携推進事業 【大学課】	・高大連携推進連絡会議の開催 ・高校・大学合同教員研究会の開催	1,400
4	私立小中高校経常費助成 【私学振興課】	特別配分枠を設け、社会人教員の活用や職業体験、ボランティア等の取組に応じ加算	13,799,500
5	介護のしごと魅力向上応援事業費（うち介護の魅力発信事業） 【介護保険課】	「ふじのくにケアフェスタ」において、東海地区高校生介護技術コンテストに出場した高校生による介護技術デモンストラーションを実施	22,000
6	技能の場力強化事業 【職業能力開発課】	・技能マイスターを学校へ派遣し、講話・実演等を行う出前講座の実施 ・技能五輪全国大会・若年者ものづくり競技大会選手の育成強化 等	23,200
7	職業能力開発総合推進事業 【職業能力開発課】	第10次職業能力開発計画の策定に合わせ技術専門校の高度化や高校、大学等との連携を検討	800
8	建設産業担い手確保・育成対策支援事業 【建設業課】	建設産業への理解促進の取組（建設現場体感見学会、親子インフラツーリズム 等）	2,500

(4) 大学、大学院の充実

※太字・太枠は新規事業<参考資料あり>

(単位：千円)

番号	事業名等	事業概要等	H28 予算
1	高校生アカデミック チャレンジ事業 【高校教育課】	<ul style="list-style-type: none"> ・大学での研究活動の実施 ・国際科学オリンピック等への参加促進等 	6,800
2	静岡県立大学支援 事業 【大学課】	静岡県公立大学法人の運営に係る経費に対して運営費交付金等を交付	5,007,000
3	静岡文化芸術大学 支援事業 【大学課】	公立大学法人静岡文化芸術大学の運営に係る経費に対して運営費交付金等を交付	1,493,000
4	ふじのくに学術振興 事業 【大学課】	コンソーシアムへの支援や学術フォーラムの開催、留学生への支援など大学間連携の推進や学術の振興	40,200
5	外国人留学生 受入強化事業 【大学課】	海外の高校生に県内大学等の魅力を直接伝えることにより、県内大学等への外国人留学生の受入を強化 <ul style="list-style-type: none"> ・キャンパスツアー ・大学の講義の模擬体験 等 	3,200
6	高大連携推進事業 【大学課】	高大連携推進連絡会議や高校・大学合同教員研究会の開催など高校と大学の連携した取組を推進	1,400
7	東静岡周辺地区 「文化力の拠点」 形成検討事業 【地域振興課】	東静岡駅南口県有地への「文化力の拠点」の形成に向けた取組の中で、コンソーシアムの拠点機能や外国人留学生の受入機能の導入などを検討	30,000

(参考)

ふじのくにグローバル人材育成基金積立金・グローバル人材育成事業

(教育政策課・高校教育課)

1 要旨

国内外で活躍できるグローバル人材の育成を社会総がかりで支援するため、県拠出金及び寄附金により「ふじのくにグローバル人材育成基金」を創設し、県内の高校生及び教職員の海外留学・海外研修等を促進する。

2 基金の概要

(単位：千円)

基金名	区 分	H28 予算		H28 年度末 残 高
		積立	取崩	
ふじのくに グローバル 人材育成基金	県拠出金	110,000	20,000	135,200
	寄附金、運用益	45,200		
計		155,200	20,000	135,200

3 平成 28 年度事業計画 (20,000 千円)

5 年間で 900 人の高校生及び教職員の海外留学等を支援する。

区 分		内 容
海外体験 促進	長期留学	海外の教育機関等で語学などの専門分野の留学を体験 【期間】 1 年程度
	県内大学との連携による留学	県内大学と連携して、大学が実施する各種留学・語学研修等に参加 【期間】 1 週間以上 1 か月程度未満
	短期留学	学校、市町、NPO等の民間が実施する語学研修、ボランティア活動等に参加 【期間】 1 週間以上 1 か月程度未満
教職員の海外研修		教職員が海外での教育機関等で専門分野や現代的な課題の研究等を実施 【期間】 1 週間以上 1 か月程度未満
「グローバルハイスクール」研究指定		学校の特色を生かした課題研究を中心に、海外の大学や研修機関等と連携してフィールドワーク等を実施する学校を指定 【指定校】 1 校
海外インターンシップ		県内中小企業の海外工場における就労体験等を実施 【対象】 専門高校等の生徒 【国内研修】 2 日間 【海外就労体験】 3 泊 4 日
ものづくり等の世界大会参加		ロボット競技等のものづくりに関する世界大会へ参加 【対象】 専門高校等の生徒

(参考)

外国人の子ども育成支援事業

(多文化共生課)

1 要旨

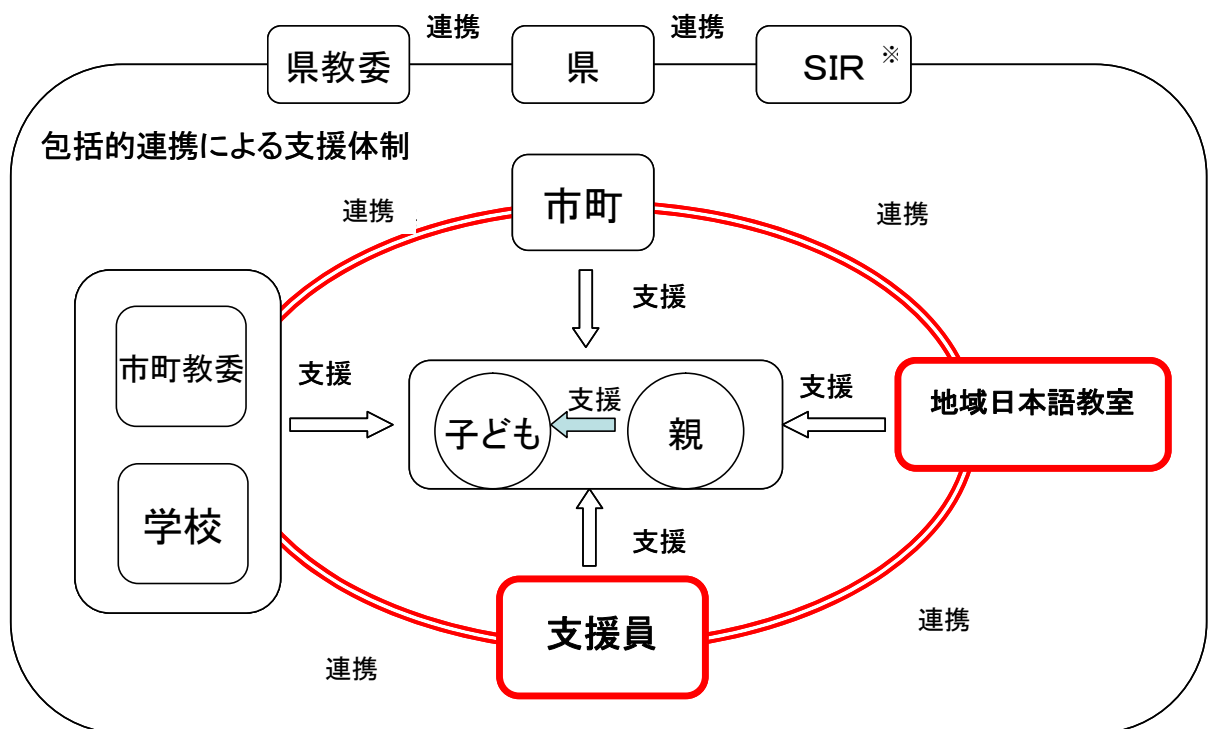
外国人の子どもの不就学を防ぎ、将来、社会で活躍できる人材を育成するため、県教育委員会と連携し、市町における地域総ぐるみの外国人親子の支援基盤の形成を促進する。

2 事業概要

(単位：千円)

実施項目	内容	H28 予算
支援人材育成、人材バンク構築	外国人の子どもの教育のための支援人材を県域レベルで発掘・育成して、市町等に紹介	4,000
相談業務	市町の外国人の子どもの支援関係者を対象に、相談、研修等を実施	
日本語教室を活用した外国人親子の地域支援体制整備	地域日本語教室等を活用して、外国人親子を地域で支援する体制を整備するための研修会を開催	

3 支援基盤イメージ図



※SIR: (公財) 静岡県国際交流協会

(参考)

スポーツ人材活用推進事業（人材バンク）

(健康体育課)

1 要旨

社会総がかりの教育に向けた地域の人材の活用を実現するため、スポーツの分野から取組を始める。

中学校、高等学校の部活動を始め、地域のスポーツ教室等の指導者不足への対応を図るため、地域の人材を活用して、優秀な指導者を派遣できる新しいスポーツ人材バンクを構築する。

2 事業概要

(1) 人材バンク構築事業

(単位：千円)

項目	内容	H28予算
委員会設置運営	人材バンクの運営方針を協議 (構成員：県健康体育課、県体育協会、県高体連、県中体連の職員等)	326
人材バンク作成管理	人材バンクの実装及び運営 ・データバンク管理者1人配置 ・スポーツ指導者の登録、管理	3,814
コーディネーター	学校と指導者のマッチング ・メインコーディネーター1人 ・エリアコーディネーター2人	11,510
小計		15,650

(2) 人材派遣事業

(単位：千円)

項目	内容	H28予算
学校体育推進事業	武道や水泳などの実技指導者派遣等 ・武道・ダンス指導者派遣 ・体育実技協力者派遣(小学校対象水泳)	2,000
実技指導者派遣	小学生の体力向上に向けた実技指導者派遣 ・体の動かし方等を指導する講師を派遣	2,500
しずおか型部活動推進事業	高校の部活動への外部指導者派遣・指導者研修等 ・スポーツエキスパート(運動部外部指導者)派遣 ・文化の匠(文化部外部指導者)派遣 ・大学生による部活動支援ボランティア ・運動部活動指導の工夫・改善支援事業(国委託事業)	61,000

(3) 予算額（平成28年度）：81,150千円

3 取組状況

28年度：システム構築、登録指導者確保、運用開始

29年度：本格稼働

(参考)

地域スポーツクラブ推進事業

(健康体育課)

1 要旨

学校に希望する運動部活動がない、専門的な指導が十分に受けられない生徒のスポーツ活動を支援するため、平成28年度に、県がモデル事業として、磐田市に地域スポーツクラブの設置を委託する。

磐田市は、(株)ヤマハ発動機や静岡産業大学、市体育協会などと連携し、地域スポーツクラブの運営を行い、県は磐田市と協力してモデル事業の検証を行う。

2 事業概要

(1) 地域スポーツクラブの内容 (磐田市モデル事業)

項目	内容
常設のスポーツチーム	<ul style="list-style-type: none"> ・学校に希望する部活動がない生徒に対して、その種目のクラブを設置する。(ラグビー、陸上競技を予定) ・学校に設置されている部活動が人数不足で大会に参加できない場合に、合同チームを設置し、大会出場
トレセン・スポーツ塾	<ul style="list-style-type: none"> ・一層の技術指導等を希望する生徒に対して、学校の運動部活動に加えて、定期的なトレーニング機会を確保し、競技力向上が可能な場を提供する。
スポーツ体験教室	<ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり等のためにスポーツへの参加を希望する生徒に対して、学校の部活動の他に、自治体がスポーツ教室等にスポーツに触れる場を提供する。

(2) 予算額 (平成28年度) : 15,000千円

3 取組状況

(1) 事務局 ・事務局員：3人 ・設置場所：磐田市スポーツ振興室内

(2) 実施内容

- 開始時期：ラグビー、陸上はクラブとして5月開始予定
 * 4月に体験教室実施
- 実施方法

種目	練習日	指導者	練習会場
ラグビー	週4日	ヤマハ発動機ラグビー部 OB等	ヤマハ発動機グラウンド 磐田市陸上競技場 等
陸上	週4日	元企業陸上部監督 等	磐田市陸上競技場

<その他種目>

種目、実施時期、指導者、会場などについて事務局、静岡産業大学、磐田市体育協会と協議していく。

(参考)

地域産業を支える実学奨励事業

(高校教育課)

1 要旨

社会の変化に柔軟にかつ主体的に対応できる能力と、産業界で必要となる高度な知識・技能を身に付け、社会の第一線で活躍できる専門的職業人の育成を図る。

2 事業概要

(単位:千円)

区 分	内 容	H28 予算
ふじのくに 実学チャレンジ フェスタ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 専門高校等による学習成果発表、技術競技大会等の祭典 ・ 農水産や商工業、家庭福祉、芸術の各分野にわたり、生徒の実習、課題研究などの成果発表や作品の展示即売などを行う。 (10月上旬、草薙総合運動公園屋内運動場等で開催予定)	3,500
実学高度化 推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新しい技術と乖離した実学系専門高校の設備の現状を改善 ・ 最新設備の活用による、実践的な専門教育の実施 ・ 専門的職業の育成 	120,000
計		123,500

3 その他

(1) 静岡県産業教育審議会答申(平成27年8月)

新しい実学を奨励するための方策として、次の3点が示されている。

- ア 専門的職業人として社会の変化に柔軟に対応できる能力を育成する方策
- イ 地域産業の発展と新産業の創出に貢献できる能力を育成する方策
- ウ 学科改善及び施設・設備の整備の在り方並びに専門高校等に対する理解を促進する方策

(2) 総合教育会議(平成27年12月実施:第4回)

新しい実学の奨励に関する視点として、次の3点が示されている。

- ア 地域学を基盤とし地域等と連携した新しい実学を充実させるための方策
- イ 新しい実学に対する社会的評価を向上させるための方策
- ウ 新しい実学に関する教育体系を更に充実させるための方策

(参考)

外国人留学生受入強化事業

(大学課)

1 要旨

海外の高校生に県内大学等の魅力を直接伝えることにより、県内大学等への外国人留学生の受入強化を図る。

2 事業概要

(単位：千円)

区分	内 容	H28 予算												
日本・アジア青少年サイエンス交流事業	<p>○県内高等教育機関への留学促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アジア地域の高校生等を本県に招待 ・県内の理系学部を有する大学等への訪問実施 ・本県の魅力や県内大学等の情報、施設等を紹介 <p>※国立研究開発法人科学技術振興機構「日本・アジア青少年サイエンス交流事業」助成金を活用（全額）</p> <p>(事業概要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対 象 者</td> <td>アジア地域の青少年（高校生等）</td> </tr> <tr> <td>人 数</td> <td>10名程度</td> </tr> <tr> <td>期 間</td> <td>1週間程度</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td> <p>○来静した学生に対し、下記のようなプログラムを実施し、本県への留学の意識を喚起させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内大学のキャンパスツアー ・大学講義等の模擬体験 ・サイエンスイベント等の交流活動への参加 ・科学館等への訪問 ・静岡体験 など </td> </tr> <tr> <td>事業費内訳</td> <td> <p>○高校生等の移動・滞在に係る費用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航空券 ・宿泊費 ・食事代 <p>○高校生等の大学訪問等に係る費用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス借上料 ・施設見学科 ・通訳料 など </td> </tr> </tbody> </table>	事 項	内 容	対 象 者	アジア地域の青少年（高校生等）	人 数	10名程度	期 間	1週間程度	事業内容	<p>○来静した学生に対し、下記のようなプログラムを実施し、本県への留学の意識を喚起させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内大学のキャンパスツアー ・大学講義等の模擬体験 ・サイエンスイベント等の交流活動への参加 ・科学館等への訪問 ・静岡体験 など 	事業費内訳	<p>○高校生等の移動・滞在に係る費用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航空券 ・宿泊費 ・食事代 <p>○高校生等の大学訪問等に係る費用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス借上料 ・施設見学科 ・通訳料 など 	3,200
	事 項	内 容												
	対 象 者	アジア地域の青少年（高校生等）												
	人 数	10名程度												
	期 間	1週間程度												
	事業内容	<p>○来静した学生に対し、下記のようなプログラムを実施し、本県への留学の意識を喚起させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内大学のキャンパスツアー ・大学講義等の模擬体験 ・サイエンスイベント等の交流活動への参加 ・科学館等への訪問 ・静岡体験 など 												
事業費内訳	<p>○高校生等の移動・滞在に係る費用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航空券 ・宿泊費 ・食事代 <p>○高校生等の大学訪問等に係る費用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス借上料 ・施設見学科 ・通訳料 など 													
計		3,200												

平成 28 年度協議事項等の決定

「ふじのくに『有徳の人』づくり大綱」の実現を図るため、平成 28 年度の県総合教育会議においては、平成 27 年度の合意事項について、随時、進捗状況を報告するとともに、以下の事項を新たに協議する。

1 協議事項（案）

○ 高等教育機関の機能強化と知的・人的資源の活用

想定される論点

- ・ 高等教育機関相互の連携
- ・ 高等教育機関や研究機関の人材を教育現場に派遣 ほか

○ 徳のある人材の育成

想定される論点

- ・ 読書活動の推進
- ・ 本物の芸術・文化に触れる機会の充実 ほか

○ 個々の才能や個性を伸ばす多様な学習機会等の提供

想定される論点

- ・ 「確かな学力」の育成
- ・ 特別支援教育の充実 ほか

○ 地域ぐるみ、社会総がかりで取り組む教育力の向上

想定される論点

- ・ 子供の貧困対策など
- ・ 家庭教育支援
- ・ いじめ問題 ほか

2 年間スケジュール（予定）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総育 合会 教議	● 4/25 会議		● 会議				● 会議		● 会議			● 会議
実委 実践員 会	★ 委員会		★ 委員会	★ 委員会	★ 委員会	★ 委員会	★ 委員会				★ 委員会	

学校における「富士山の日」の状況

1 県立学校における「富士山の日」の状況

県教育委員会では、静岡県立高等学校学則、静岡県立中学校学則及び静岡県立特別支援学校学則を改正し、平成 23 年から県立学校を休業日としている。

(1) 県立高校

生徒が家庭や地域において富士山を寿ぐことを促すよう、市町やNPO等が行うイベントの情報提供をしたり、一部の県立高校では、自主的な取組を開催したりしている。

【各学校の自主的な取組例】

学校名	主な取組	主催	実施場所
吉原工業高校	3Dプリンタを利用した富士山の模型づくり	自主活動	学校
佐久間高校	富士山検定3級の問題を事前に配布し、生徒が各自で実施	学校	自宅
磐田西高校	静岡文化芸術大学「富士山の日」企画展示を情報提供し、生徒が各自で見学	自主活動	静岡文化芸術大学

(2) 県立特別支援学校

児童生徒が自宅において一人で過ごすことが難しいため、多くの特別支援学校では、学校開放の取組の一環として、それぞれの実情に応じ、独自の行事等を実施している。

【各学校の自主的な取組例】

学校名	主な取組	主催	実施場所
浜松視覚特別支援学校	富士山を題材とした俳句や詩の作成	学校	学校
沼津特別支援学校伊豆田方分校	富士山の日もちつき大会	P T A	学校
東部特別支援学校川奈分校	富士山学習 (校外学習の発表、歌、ちぎり絵、折り紙)	学校	学校

2 市町立学校における「富士山の日」の状況

現在、学校を休業日としている市町は、3市1町（沼津市、三島市、富士宮市、西伊豆町）である。

休業日としない主な理由(平成 23 年度県教育委員会調査)

- ・保護者が休暇を取得することができないため。
- ・児童生徒が自ら学ぶ場所等、環境が整備されていないため。
- ・授業の取組が「富士山の日」の趣旨を理解するために効果的であるため。
- ・中学生は、受験を控えた重要な時期であるため。
- ・授業時数の確保が困難であるため。

県行財政改革推進委員会意見書「学校給食関係」の概要

県行財政改革推進委員会は、知事に対し、「学校給食関係」に関する意見書を平成 28 年 2 月に提出した。概要は以下のとおりである。

1 意見書の概要【改革意見】

(1) 給食費に関する透明性の確保

- ・事業者の比較検討
- ・食品選定の委託等
- ・給食費の管理

(2) 地元食材の活用

- ・食育、地元食材活用の推進に当たっての県教育委員会のリーダーシップの発揮

(3) 学校給食における県学校給食会の役割

- ・状況の変化に応じた学校給食供給等の在り方と県学校給食会の役割の再検討

(4) その他の論点

- ・献立作成や食品選定は委員会を設置、調理受託者の研修会参加への配慮等

2 意見書において県教育委員会に求めていること

- (1) 改革意見への対応方針を整理判断
- (2) 市町教育委員会に対する指導助言
- (3) 公益財団法人静岡県学校給食会が自らの改革を進めるよう働きかけ
- (4) 改革は可能な限り前倒しして対応
- (5) 県行財政改革推進委員会への取組状況の報告

(参考) 県行財政改革推進委員会の概要 (事務局：経営管理部 行政改革課)

項目	内容
設置目的	行財政改革の推進に向け、様々な観点から意見や提言をいただき改革に反映する。
検討内容	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県行財政改革大綱の取組状況の検証・評価、進捗管理に関すること。 ・一層の改革が必要な課題、時代の変遷による新たな課題に関すること。